

福岡県高等学校体育連盟

大会開催に向けた感染拡大防止ガイドライン（令和2年6月4日現在）

1 大会を開催するにあたって本ガイドラインは、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」を受けて、大会を再開するにあたっての基準や、再開後の開催時における感染拡大予防のための留意点について、まとめたものです。各

専門部におかれましては、本ガイドラインに従って大会を実施していただくとともに、必要に応じ、各競技大会の特性

に応じた競技別のガイドラインの作成に取り組んでいただきますようお願いいたします。なお、今後の知見の集積及び各地

域の感染状況を踏まえて、逐次見直すことがあり得ることにご留意をお願いします。

(1) 3密(※)(密閉、密集、密接)の発生が原則想定されないこと。(人と人との間隔はできるだけ 2mを目安に)

(2) 大声での発声、声援、又は近接した距離での会話等が原則想定されないこと。

(3) その他、必要に応じて、適切な感染防止対策(入場者の制限や誘導、手指の消毒設備、マスクの着用、室内の換気等)

が講じられること。

(※) これまで集団感染が確認された場に共通する「①換気の悪い密閉空間、②人が密集している、③近距離での会話

や発声が行われる」という3つの条件。

以上のような条件が整わない場合は、大会の中止又は延期をしていただく必要があると考えます。また仮にこうした対

策を行っていても、その時点の感染状況に応じて(緊急事態宣言や県内の感染 拡大など)、大会の急な中止又は延期等の対

応を高体連事務局からお願いすることがあります。

・競技によって、参加人数や会場、競技特性に違いがあるため、本ガイドラインに加え、競技に応じた対応検討すること

を基本とする。(中央競技団体で作成したガイドライン参考)

・感染リスク(3密や感染経路)の回避が難しい競技については、協会や連盟と連携を図り、中央競技団体で作成したガ

イドラインを参考に開催の可否を検討する。

日本卓球協会ガイドライン(抜粋) (2022・3・19)

2. 卓球競技大会開催時の感染防止策について(主催者)

卓球競技大会開催時の感染防止策については、都道府県知事の方針に反しないことが大前提です。その上で大会主催者は、その運営に当たり以下の事項にご留意下さい。

(1) 卓球競技大会の企画、参加者募集時の留意事項

- ① 競技大会は、都道府県知事の感染防止方針に準拠して開催する。
- ② 県を跨いだ全国大会などは、大会規模に応じて参加者の事前検査等（ワクチンの接種状況、PCR 検査または抗原定量検査）を義務付けることも考慮する。
- ③ 参加者数は、都道府県知事の方針のもと上限人数を定める。
- ④ ダブルスや団体戦を実施する場合は、以下⑥の項目の遵守を徹底し、「飛沫感染」及び「接触感染」対策を十分に行いつつ実施する。
- ⑤ 観客は、当面の間、全国規模の競技大会は無観客とすることを推奨する。
- ⑥ 有観客で開催する場合は、以下の事項に留意する。
 - ・ 観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、事前に観客席の数を減らすなどの対応をとること
 - ・ 大声での声援を送らないことや会話を控えること（マスク着用の場合でも、会話を短く切り上げる等の対応が望ましい）
 - ・ 会話をする場合にはマスク（品質の確かな、できれば不織布）を着用すること等の留意事項を周知すること
 - ・ 選手等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じること
 - ・ 入退場時の密集回避（時間差入場等）を行うこと
- ⑦ 大会前日から 10 日間以内で以下の事項に該当する者には参加の見合わせを求めるところを事前に周知する(4. (1) 雛形参照)。
 - ・ 平熱を超える発熱（おおむね 37 度 5 分以上）がある
 - ・ 風邪の症状（咳、のどの痛みなど）がある
 - ・ 倦怠感(だるさ・体が重い・疲れやすいなど)、呼吸困難（息苦しさなど）がある
 - ・ 嗅覚や味覚の異常がある
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる者(上記の症状を有する者)がいる
 - ・ 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある
- ⑧ 参加希望者に以下の項目の遵守を文書等にて周知する（4. (1) 雛形参照）。
 - ・ マスクを持参すること（参加受付時や試合待機時等のスポーツを行っていない際や会話をする際には口と鼻をしっかりと覆うマスクを着用すること）
 - ・ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
 - ・ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ 2 m 以上）を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
 - ・ 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと
 - ・ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと

- ・ 大会参加前に、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」のダウンロードを推奨すること

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

- ・ 大会終了後 10 日間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に速やかに報告すること

(2) 当日の参加受付時の留意事項

- ① 受付には、手指消毒剤を設置すること
- ② 発熱・咳・呼吸困難・倦怠感などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること
(状況によっては、サーモグラフィーや非接触体温計などで発熱者を特定し入場を制限することも検討する)
- ③ 人と人が対面する場所は、三つの密を避けるよう配慮すること
- ④ 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと
- ⑤ 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること
- ⑥ インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等をできる限り避けるようにすること
- ⑦ 参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求めること (4. (2) 雛形参照)

- ・ 氏名、年齢、住所、連絡先 (電話番号)

※ 個人情報の取扱いに十分注意する

大会エントリー時に連絡先が登録されていれば、当日の提出は氏名と体温、症状の有無のみで可

- ・ 大会当日の体温
- ・ 大会前日から 10 日間以内における以下の事項の有無
- ・ 平熱を超える発熱 (おおむね 37 度 5 分以上) がある
- ・ 風邪の症状 (咳、のどの痛みなど) がある
- ・ 倦怠 (けんたい) 感 (だるさ・体が重い・疲れやすいなど)、呼吸困難 (息苦しさなど) がある
- ・ 嗅覚や味覚の異常がある
- ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある
- ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方 (上記の症状を有する方) がいる
- ・ 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

(3) 卓球競技大会参加者への対応

1) 体調の確認

主催者は、(2) ⑦に掲載されている事項を記載した書面の提出を求めること

2) マスク等の準備

主催者は、参加者がマスクを準備しているか確認すること

なお、競技中のマスクの着用は不要であるが、参加受付、着替え、表彰式等の競技外の時間、特に会話する時には、口と鼻をしっかりと覆うマスクの着用を求める。

3) 大会参加前後の留意事項

イベントの前後のミーティングや懇親会、写真撮影等においても、三つの密を避けること。会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること。

(4) 卓球競技大会主催者が準備すべき事項

1) 会場入り口、受付

① 手指消毒剤の設置

② 受付等にて人と人が対面する場合は、三つの密を避けるよう配慮すること

2) 手洗い場所・洗面所（トイレ）

① 手洗い場には石鹸（足踏み式手指消毒器が望ましい）を用意すること

② 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をすること

③ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。参加者にマイタオルの持参を求めてもよい

3) 更衣室

① 一度に入室する参加者の数を制限すること

② 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒すること

③ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること

(5) 卓球競技会場、試合進行上の特別処置

1) 換気

① 換気設備を適切に運転し、十分な換気を行うこと

② 競技場内の部屋（役員室、更衣室）の利用にあたっては、30 分ごとに十分な換気を行うこと

2) 卓球台の設置、卓球台・ボールの消毒

① 卓球台は十分な間隔を開けて設置する（4 m 以上）。

② 卓球台、ボールに適用可能となる完璧な消毒方法は判明していない。卓球台およびボールを消毒する場合には製造元のメーカーのホームページを参照するかメーカーに問い合わせる。

・ 頻回の手洗いによる除菌、感染予防に努めて下さい。

3) 選手・コーチ用ベンチ、審判席、カウンター等の消毒

次亜塩素酸水、70%アルコール、次亜塩素酸ナトリウム（0.05%希釈）、界面活性剤等で各試合終了後に消毒する。

3. 卓球競技大会開催時の感染防止策について（参加者）

(1) 参加者が遵守すべき事項

1) 大会前 10 日間以内に以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせる

- ・ 平熱を超える発熱（おおむね 37 度 5 分以上）がある
- ・ 風邪の症状（咳、のどの痛みなど）がある
- ・ 倦怠感(だるさ・体が重い・疲れやすいなど)、呼吸困難（息苦しさなど）がある
- ・ 嗅覚や味覚の異常がある
- ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある
- ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方(上記の症状を有する方)がいる
- ・ 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

2) マスクを持参すること

卓球を行っていない時や会話をする際にはマスクを着用すること

- 3) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 4) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ 2 m 以上）を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- 5) 会場で大きな声で会話、応援等をしないこと
- 6) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- 7) 大会参加前に、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」のダウンロードを推奨すること

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

8) 大会終了後 10 日間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること

9) 大会前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること

(2) 試合を行う際の留意点

- 1) タオルの共用はしない
- 2) 飲料は自分専用のもを飲み、回し飲みはしない
- 3) 卓球台の上で手を拭かない
- 4) シューズの裏を手で拭かない
- 5) 握手などの身体を接触させる挨拶は行なわない
- 6) 不要な声出しはしない